



~#15
1977
9



玉海集道和類目錄

夏之部

更衣

新樹

一八

杜若

牡丹

芍藥

印花

灌佛

葵

糸

郭公

楊

百合草

螢

蚊

若竹

早苗

青梅

五月雨

競馬

菖蒲付紙檄

石竹付接子

照射

夏草

柘榴花

枇杷實

冰室

水鷄

蟬

夕立

扇 瓜 蓮 稻

夏月

付短歌

紙圍會

夕歌

橋川

泉

納涼

雜夏

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

玉海集追加卷第三

夏

更衣

久の死らん風くくの中 古くらり未門知等庵主 梅雪

洗ひくくくくくくくく 糊と更衣くれ伊奈久 望月

くくくくくくくくくく 夏衣泣了氏 一直

獨吟ふ

くくくくくくくくくく 夏衣若州小濱住平尾氏 正武

新くくくくくくくくく 夏衣甲府官真松氏 宿次

新樹

花の雨かきくくくく 夏衣未名住 貞頼

花のうきくくくくくく 夏衣 梅室

夏衣立宗 近く作く福寿山撰州兵庫常休 忠決

寸尺やひきよけくくくく 夏衣 徳定

越海にまきりし樹

月影や雲にまきりし樹 大井氏 重次

後家こやよこせ毒帯れ夏木立 望湖

吾言れおのまつらるる後りぬ 山田氏 卜叟

短くいこえれ桐の本れ夏木立 三信

枯ハ多いにこえり本榎の

第角の垣よ志ありりぬ

ハ多しけり之けりる窓の垣根 尾州朝臣 後景

やとり本の一樹の佳れ志あり 和州下市百溪 正信

菖氏れくはしとて

末長く志けりこひにれあり 大音 草栖

繁ちつららるる志あり柳 曾我 末元

一八

陽気けり 野沢氏 曲眩

杜若

上巻に於

奇の白れ上方てみるや杜若、利室

あつりく、あつちあつちあつち

兵庫西里氏

常盤、せり能勢のせり、花

羽州益原氏

舟當やはきにあつちあつち

井持氏

左釋

或は方とて杜若の一文の

西条ゆき

あつちあつち中てあつちあつち花 貞室

杜若

あつちあつち青雲うらわや舟日草 重之

羽州山形官原

あつちあつち下枝やうらわあつち

賈加金沢住

周元

八重に咲く花のうらわあつち 之也

尾州

京京者傳一ふ

獅子國よ信や〜の花れ王 教實野瀬 定利

花のな切〜但〜よりん 薩州麻見鳴大山氏 謹也

火と〜の牡丹れ〜や十二行 江州八幡山伴氏 實治

追〜に〜け〜花の〜やん 肥後友開 金門

馬〜の〜の牡丹に〜と胡蝶 徳定

橘の〜に〜の牡丹れを感 越前 呆子

生恒〜の〜の〜花れ王 伊豆氏 望湖

花の〜の〜の牡丹れ王 一松助伴母野鳴 貞孝

花の〜の〜の牡丹れ王 但馬生野中鳴 安永

芍薬

花の〜の〜の芍薬や地蔵りた 青地氏 可頼

卯花

糸

日城の移領とくじや林糸 利宣

中つら目れやうや三梅丸伊賀上野 住三浦氏 剣也

之治れ糸くれてや月とやう小川氏 杵奥

江州流麻糸の信とゆて

つれらさくをさくあつてあふ若原濱吹田 舎徳

江州行生指後一糸丸

一 糸丸とゆて

糸丸とゆて糸丸の舎丸貞宣

糸

糸丸の糸丸とゆて糸丸 不必

糸丸とゆて糸丸とゆて糸丸 月

名のりそと子藤いうそがくさく 祐上

そらうすじふたさくさけ 郷 宣秀 大津豊田氏

あてまけりあめひさく 郷 貞吉 京五茶雲出

山くもりあやわがし 由的 防加守初之氏

大石り山出うわう 油法 大津秋照氏

とらうしやあまれうて 四島 惟庸 肥後熊本住松本氏

香野うすて 山崎住樂垣氏

鳴ておんひけしうせ 郷 下野

お名のりもれはうのし 正信 紀州高松氏

名のれいれくわあう 四島 定吉 京林氏

山まらちあうてあわら 茂雅 教賀住

堀よ付てあまきりし 角夫倉 親孝 紀州野村氏

官軍うあみのつや 井の郷 長本 尾州美沙

名のれいしあまきりし 衣下 但馬野住寺村氏

つれあつちあつれあつち 四島 貞坊 京住森下氏

娘あつあまきりし 四島 正安

南部無福寺花林院にて

僧正に又ありしれよか〜
悔辱

木ありし〜
定義

冥途の昔や〜
一惠作

羅漢樹に本さる〜
重

色衣に本さるや色びか〜
馬淵 定好

かくとも〜
尾州上郡安鳴成 眠菴

今里と〜

〜

〜
河内清安 春宵

〜

〜
宮川氏 長之

〜

〜
根羽三田所住 友可

〜

〜
可乾

大坂うつけいしりあて

家いりつ不矢場よまろけ 鄭山崎宗鑑古跡住 么 梵益

よきあのはしあふしりあて

いりり勢よまろけあふしりあて 尾列大野高津氏 因述

あふしりあて

湯口りよまろけあふしりあて 鄭 么 同

鄭 么 一と誰よ口りあて 敦賀野沢 室白

只はしりあてあふしりあて 鄭 么 根列西宮水野氏 徳頼

黒大豆けしりあてあふしりあて 鄭 么 根列西宮 正剛

あふしりあてあふしりあて 鄭 么 丹波鴨庄 正好

あふしりあてあふしりあて 鄭 么 根列西宮 慈樂寺 正貞

あふしりあてあふしりあて 鄭 么 根列西宮 住位氏 同益

あふしりあてあふしりあて 鄭 么 重正

橋本志ゆりあてあふしりあて

あふしりあてあふしりあて 鄭 么 賀列 種式

口中よあふしりあてあふしりあて 豊前中津波氏 一夢

此系の増やうけー一殿代鳥 祐上

血にまはしめてみまると子規 揚軒

夢の中や夢よじまう郭公 丹波福徳山後山 若菜

しつゝおてま一勢うけ 阿島 羽州 赤尾

冥途黄子勢 賀嶋氏 尚的

写勢 / ヤ実魚同笑郭公 敦賀住 立記

郭公 大津四家氏 長規

宗徳ののり 友静

帯とびて一歌勢 肥後熊平渡戸氏 一直

親の腹でふんておまう郭公 赤尾

うらうら 撰加西官 重友

金衣鳥 紀伊熊野新官 重年

さ 撰加兵庫常依 忠次

そ 肥後熊平佐河井氏 忠重

徳 豊前中津官舟 宗保

父 肥後熊平住清水氏 一秀

のぬ森とてい子にさしうー回鳥 江州天津秋臣氏 海行

同て嬌し我子やしりくし郭云 友静

ふらふらわててにりし郭云 長之

大鼓撞りて里々鳴り時れ鳥 菜名山田氏 昌長

時々に鳴りてとあれ時の鳥 未定

こころれ可憐くしよ回長鳥 亞典

新うとてあしり回長鳥 肥後縣平中島氏 初五

皆れ代々人々門々郭云 亞典

まじいさけあまらゆ海屋くらて鳥 越前福井之田氏 祐元

一皆賣てこよの麦代り知くこよの 大井氏 重次

そひてまう時をばつようれ皆代鳥 草津木村氏 重道

中しむるいせららんさりや廢代鳥 教賀 定利

鮮れ鳥にうくとまそくくや廢代鳥 後列今津美谷氏 利定

乃とてれ指まけよく川て鳥 馬関氏 定好

や年やみらうくるのく川て鳥 卜琴

文字にんらよ別部帖宣書へ勢つり 尾州名君屋青山氏 富重

かゝれいよらわむ習ひてふや鳥 大坂村田 宗清

水親書とて

かひーりも耳へあさうー部 勢州桑島野呂氏 山井

耳の空部うーと埋めかゝる 長之

耳うーに物さうーせと部 鍾倉住戸村氏 山里

さうれー耳のえさへ部 賀州村塚 全益

月のあも初や耳うー部 上京村上氏 重道

聲てはいとあれれと 冷敬

ちれとれ音の情全う部 長本

一帯ひよとさうせりもれ部 越前福井 點可

たのこやとと事うー部 京森下氏 正安

阿鳥かきりあう部 肥後熊本鹿水氏 宗統

ねと志れさうらふれ部 尾州 宗真

うらうのれさへにうらも阿鳥 尾州 之也

志ささも阿鳥のりれ部 江州廣瀬氏 宗秀

とよちうーの部 宗清

たつとくさるるもくさるるもくさるるも 利室
わささるるもくさるるもくさるるも 貞室

山下 挨拶

やうとくさるるもくさるるもくさるるも 月

紗の年いせやと井は部 月

うさるるもくさるるもくさるるも 月

あはるるもくさるるもくさるるも

かたみそ 月

あはるるもくさるるもくさるるも 月

初瀬

血にともさるるもくさるるもくさるるも 月

血よさるるもくさるるもくさるるも 月

初瀬とさるるもくさるるもくさるるも 月

二部とさるるもくさるるもくさるるも 月

橋

たらしらるや 程程と白く梅れ文 大井氏 重以
たらしらるの直幹と白く白いれ 小川氏 重具
とふくれゆれと白く白いれ 野田氏 基春
わらしらるの垣成と白く白いれ 辨別松坂竹内氏 仍信

水落場と白く白いれ
ゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆり

花見と白く白いれ 紀州村松 正幸

梅れゆりゆりゆりゆり 大音 弟栖

昔庫伴貞酒家の梅投よ

羨望れゆりゆりゆり 貞室

百合草

玉ひよみやいとあはれなる 利宣

火て果し馬れ魚しりやあま 重次 大井氏

日の布や腐草とてとてとて 須石 美濃関下村氏

まよふそれあつしりくくく

莫きにひくぬいまれあたる 劔也 伊陽城下

火れつりくくくぬもやせり 上琴

竹敷のみきぬよもゆる 徳窓

螢火とくはの極むれいしり 直昭 肥後熊本住吉屋氏

弘はのけいにくつぬりて 重徳 杉原石連寺田甲子

高藤人をもきろくぬめてん 劔也 若別小湊幸尾氏

火はくくくくくくくく 正茂 江別堅田住田氏

螢火のきくくくくくく 教重 肥後大庭

月あて雲地に満る河もく 如月

早くくくくくくくくく 長之

つくくくくくくくくく 春宵

河清あつしりくくくく 号也

蚊やんごころとてより柳井物氏常垣

室掃りりるの雨ささめぬ蚊帳濃州岐阜大塚光幸

寐入られささめあ〜〜金門 夫鳴氏

摸多〜とて蚊よく〜南澤

つ〜〜〜細きあねさる望湖

く〜〜〜く〜重道

な〜〜山宿よせくさるもあ〜

たの〜並書

蚊のたの〜蚊にく〜越後糸魚川伏木氏 義鄰

あ〜江戸佐津田氏

蚤と蚊の〜貞室

さ〜丑州山形早崎 末言

棒〜賀州金山崎氏 永幸

蚊帳の〜江州佐和山 宗正

蚊帳や〜英英

蚊帳の板や〜左靜

蚊柱のりともえりこむ耳一の完 重道

蚊柱やまきこ持しすの物比糸 孟奥

蚊柱やんよ持あひる物乃家 南都置村 重正

物比菓や蚊りら志ひる席り繩 大津井口氏 順忠

蚊柱やん比のうく漆比本 久童

蚊柱比流し一本にすらに 羽州山形某木 吉村

藪の中よすむ蚊ハ竹の柱比 江戸坂倉 油辰

藪殿いひくくうぬますす蚊比 但州生野伊中嶋氏 安永

蚊比くうあひるもくぬ人比 長本

くひて比にまのまの比のひ 濃洲岐阜某 月

ん比身比くくひ下にすすく 羽州 竹系

くひやうり唱蚊比とを 未定

貝比くぬの物比濃茶との 長本

登ハ隅よのくれてつる 丹波崗鳥居氏 勝之

蚊う苦にやあく 濃洲岐阜井氏 秋庭

着竹

竹の子は坊らすれ藪に牛一膝 越前福井神戸 可弼

山は命よ生るく竹のこころあり 月

うか多しう心もまよはる竹 尾州 之也

裸てい生まれぬ竹の子 栲州西文住辰 正

生れくつろ竹の子 棋所西宮 不必

くろて居てさき竹の子 濃州岐阜住吉氏 重友

竹の子はまくにきてあり 濃州岐阜住吉氏 忠徳

ちびくともれぬ竹の子 濃州岐阜堀田氏 正成

竹の子はのひをまよふ父子 甲戌 尚房

子と親とるれくま 滋列岐阜 蜻蛉

親の子にのり 滋列岐阜 長保

親とあれ中 棋所西宮 重屋

母も竹の子 棋所西宮 了卜

ついでちびく 棋所西宮 不必

藪に持のうけて竹と

みく

楊子てまゝの竹の盗人 之也

盗も出て暫の竹の子を 佐宗

子もばいさすの竹の文 同

すの子の神示し女竹の名 紀州野村氏 長中

君とつた大名竹の子 三浦氏 春香

此長ばりやい海ふ竹主人 大井氏 重次

だん人のせららう皮やうけう膚 祐元

重さやう竹のあれ皮衣 光重

せい竹の子とくるれぬや親の 棋所西宮西蓮寺 三周

早苗

ちとくひななれて 肥後熊本聖山氏 清智

早苗より 望海

やぐらやうにすうりしむれは梅田分 利宣

青梅

つあーつれ自ひらつろ梅りし 親宣

塩垢離ハ一夏此行々梅りし 豊前中津住楠本氏 冬言

すくやふれみはまりくそく梅は所 肥後渡了氏 一壺

ありのよりすくこころ梅は所 大津福田氏 光徳

若みのりぬの志ぬようけそや梅は所 法定

花梅は実や夫非は山岳辺 一壺

五月雨

五月雨い孝本國去志ろけくれ 作別津山住 自發

み月ぬいさう宙のうられぬ中か 祐元

天々地やあひちくくさほみ月ぬ 重道

空のこもり水も濁らん
江州上宮之園田氏
あめ月あめ 後在

あめ月のしらや
棋州今津村末
あめ月比由体息 不必

あめ月のしらや
正位
あめ月比由体息

あめ月のしらや
紀州粉川大伴氏
あめ月比由体息 定義

あめ月のしらや
望湖
あめ月比由体息

あめ月のしらや
丹羽福智山内氏
あめ月比由体息 重廣

あめ月のしらや
善入
あめ月比由体息

あめ月のしらや
定好
あめ月比由体息

あめ月のしらや
大井氏
あめ月比由体息 重次

あめ月のしらや
あめ月比由体息 甚良

あめ月のしらや
棋州大坂之臣
あめ月比由体息 眞真

あめ月のしらや
あめ月比由体息

あめ月のしらや
あめ月比由体息

あめ月のしらや
丹波山家臣内菅我菴
あめ月比由体息 保一

あめ月のしらや
あめ月比由体息

あめ月のしらや
あめ月比由体息 青松

毒れぬやうに〜
 終よ似て古本や〜
 馬鞍のう〜
 小月ぬち〜

耻布
 倫貞
 貞室
 月

競馬

終〜
 終〜
 終〜

奔氏
 重次

終〜
 終〜
 終〜
 終〜
 終〜
 終〜
 終〜
 終〜

井狩
 常任
 京山
 重基
 井狩
 正重
 貞剛
 長之
 光信
 貞室

かきくしむらていそそけくしる 月

葛蒲

付録

桃と菊に中飲するや葛蒲酒 結上

くまのくまの又節の舞と葛蒲酒 可乾

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

葛蒲酒くんでくまのくまの 月

大津豊田氏

富秀

まじしつるまじ地の池は葛藤の 重基
池の名は短の葛藤くしれふ 長之
泉水の太刀のまじりや葛藤の 惠佐
まじりしつるまじ葛藤作り 原只氏 吉氏
まじりなる新にまじりしつる 春香
葛藤刀夕日や新れまじり 大津若林氏 吉信
まじりやれ葛藤のまじりのまじり 長之
まじりまじりまじりまじり 山井

まじりまじり

酔のまじりまじりの葛藤の 大津福氏 光继
目は数とまじりまじり葛藤の 利室
者まじりまじりのまじり葛藤の 丹波山家之住 友随
たまじりまじりまじり葛藤の 善入
引てまじりまじり葛藤の 同
葛藤湯まじりまじり葛藤の 吉氏

招吟り

萬箇泊くしつうけてわゝる 粽 重彦

後くまふしむれ移れ中り言ふ 一編 大井氏

巻くう文やちやふれなまし 重彦

あ月可もしく大地震くと

あ月可もしく大地震くと

善哉かみよわ大地道あふ 貞室

あつてあつてあつてあつてあつて 同

あつてあつてあつてあつてあつて 同

石竹

花さけいむらう〜〜や石竹 小川氏 貞奥

金玉も花よ〜〜石竹 水戸山縣 不競

いのちあ〜〜や視の石の竹 棋列大坂松尾 昌次

〜〜あれあわ纏泊り石竹 梅室

〜〜〜〜れ行ふれあや石竹 尾州曾我心計内 友久

さきこいさふかきるけり
大津西村氏 頌可
豊前中津住
さきこいさふかきるけり
大和 宗塔
羽州山形官原氏
さきこいさふかきるけり
正並

照射

細るはゆいこいさふかきるけり
可頼
分りわら角いさふかきるけり
徳定

こいさふかきるけり
三信

夏草

矢いさふて松りりさふかきるけり
紀州池野氏 清近
大津早崎氏
さきこいさふて松りりさふかきるけり
正剛
咲花と我こいさふかきるけり
左静
菊やこいさふて松りりさふかきるけり
豊前 豊秋 豊把

岩有二三石如花之似之
岩有二三石如花之似之
之也
肥後熊本住大庭氏
梅生
越後魚河倉若
長持一一枝り一や全銀花
夢半
吹風やとり逃とすう全銀花
榎別大坂住大平
伯貞

拓榴花

みりーんはるけらるる花さくら

春宵

批把実

傳多う〜てりらるる批把実
大坂内
茂利

氷室

去年此冬ふくたにわつらぬ水鳥
 水餅よりわ水鳥れくは終
 塙出はつ瀬やくは田乃水鳥
 夏虫とくわやまろしん水餅
 重次 犬井氏 傷負

水鷄

しんそ水鷄の勢も濤りくら
 利宣

浪うらたくと鳥くら水難くれ
 友静

禪

玉虫や意て吟する蟬れ奇
 玉虫 松目氏 秋意
 耳よりくつ我う邪う禪一の奇
 耳 濃州安貞淺井氏 台利

一命ハ身ニクク々々様れり
江列東河原徳業寺 性琢
 花形ナリ様れり
棋列王牧留松 元亨
 山崎ニシテ
 増れり
 利宜

クク

勢列畠南郡 兼次
 可郷
大坂伊勢村 未正
 定好
 金門
 春香
石富氏 吉重
江列茂根岩彌氏 正藤

夕ぐらゐの風や扇は骨とくす
夕ぐらゐのこゝろはくすくす

英英
作者不知

漢列りて

夕ぐらゐの海氣の色は又くれ

大井氏
重治

夕ぐらゐの波はくすくす

可研

夕ぐらゐの世はくすくす

勢列来名之臣不
方淑

夕ぐらゐの舟はくすくす

安永

夕ぐらゐの舟はくすくす

結上

夕ぐらゐの舟はくすくす

可研

夕ぐらゐの舟はくすくす

可研

夕ぐらゐの舟はくすくす

同

昔希福

夕ぐらゐの舟はくすくす

貞室

解

中昔月ハ扇こころ人しり

金門

風の糸よ志あ紙くけろ扇くれ

一直

あつとにまのりうつわろる風の糸

拱加西官住

祐甫

風の糸いのりよまきわぬれ

奥列黒野氏

不必

一併うあつとこの地紙風れ糸

奥列會津

忠孝

扇うらやまきう風れの軍

武列岩付之任内表氏

智福

つとまひにやうなれろ糸

耶後熊本大田氏

友便

風鳥いあつと紙く扇くれ

貞由

かひかりとそく水り扇れ地

尾列曾我氏

心計

脇柄れまきうまのりあつと紙

尾列曾我心計内林氏

吉平

しんを扇こけつとあつと紙

任勢津之任中井氏

未由

くはまらり風れまきう扇くれ

兵庫山沢氏

之吉

るのりそつとあつとや南風

緑一

くろくろの茶あまそあま

ま紙あまそあま

俊利 依勢て落とるは武者経家

義鄰

紀州香高阿川氏

骨うらめしげなやうて成老扇

魚歌

賀列金沢

少くも我身やうて扇形

黒米

實れしそて風に骨あるゆゑ

三位

越前福井藩

影よめは扇は骨や竹連子

一考

會津森川氏

暑さ日候つらつらめは扇形

重貞

夏月

涼しき夜はつとむかの月

卜琴

兵庫大野氏

ゆきれ月あつとむかの月

之正

なつとむかの月あつとむかの月

三信

月の毎やふつとむかの月

梅室

夏は秋のつとむかの月

不必

夏は秋のつとむかの月

月

先づ月のあつとむかの月

月

秋は年夏は秋のつとむかの月

月

今一くはまればよくねる事なり 尾州 之也

ひらひのあつちや鳥の海のみ 揚室

草もあましくもくねる事なり 尾州清水氏 杜ト

月の影くくると要や 尾州野間氏 正利

雪の影くくると要や 大坂天満 重寛

雪の影くくると要や 利定

あんとんとくくると要や 月

あんとんとくくると要や 善入

あつちやうくくると要や 西川氏 成昭

あつちやうくくると要や 棋州兵庫法蓮寺 本住

あつちやうくくると要や 正信

紙園會

あつちやうくくると要や 大坂 為重

あつちやうくくると要や 尾州住見氏 遠方

たひひくし海もくらく紙墨は云 若英

津嶋もつりつとて

毎洋とくもくは浪れ鼓くれ 春香

ゆりりもわねれくく一級下洋 中月氏 若重

舟洋よつろつてくも楫くくく 友禊

紙墨書れくも扇りやとり坂 徳定

津嶋もつりつとてくもくくく 兼次

六月十日冒名別津嶋もつり

試あし

挑燈て浪紙仮巻や紙墨は云 貞室

紙

茶いあやりつろくも徳くもゆれ紙 之正

くろくくもつりつとてゆれ紙 祐上

あしりつりつとてゆれ紙 貞室

伊賀全野 松木氏

大和風ひやきけ泉に月
姫風のつらやうくさひのうら
姫風やとらけく不切作替天
茶々々もく不備くぬ中作あり

棋州伊丹世鴻氏

貞岑

河内参田

一千

参

青松

夕歌

雪のふりそよふりやくれさけの花
光春

棋州西宮

光春

鶉川

鶉とつよ飛やもよおしの宮
鶉つらひのふり言ひ月来れ
つよ鶉とつよのゆきよりの月
月の来り鶉とつらひ痛師
並つやとつらひ鶉近の餅つた

伊丹松山中松氏

白利

初室

尾刈燕田小出氏

立心

不必

定利

般若の業やつまの轉句舟

北野下松超勝院

真察

篝火の轉舟れ真乃連火の

勢別上牧富松

元寄

伊勢舞のつれづれ國風草のり

貞室

流別長良のつれづれ十二艘れ

舟のつれづれ十二艘れ

つれづれつれづれ

世のつれづれつれづれつれづれ

同

蓮

蓮のつれづれ蓮のつれづれ

性琢

一年のつれづれ蓮のつれづれ

敦賀野沢
宗与

葉のつれづれ蓮のつれづれ

徳念

たのつれづれ蓮のつれづれ

同

蓮筒の花入のつれづれ蓮のつれづれ

志真

あまのつれづれつれづれ池殿の蓮

和列郡山都筑氏
安松

花の露の蜜よりうららかに
俱利八木住中嶋氏 安濃

文字の中の車てなやま
大坂武井 友定

草の葉は花実よりれり
春宵

花の葉は花の結のま
肥後熊本吉田氏 直昭

江別 忍 七 草 友

ゆるり花の葉よりなやま
偏負

泉

人々の汗よりなやま
不必

橋人のうららかに
同

悪氣は清水より
ひすひす

若き身ものぬるさ
同

ひすひすの清水
棋列西宮辰 正

ゆるりの酒より
舟列福智山内氏 重慶

江別 養 光 徳 の 菊 ありて

多れ涼蓋内へ婦人これ孝

なれりといふ

志むしき孝の涼蓋内依りぬ

貞室

納涼

河邊のほとり

古の解みさといふころや夕涼

鎮前福聖今世
正重

出て涼め菴の河のほとり見 利宣

大坂井畷氏菴のほとり

涼をせればやあつ難波人 福一

涼をせりて暑く汗やらの影 河地氏 正量

風を揺るといふや真の朝の松 三列菴の橋本 河地氏

並松にありや暑くはらぬね 同 三信

井のほとり暑くはらぬね 中津住井氏 氏之

河内関下村
廣

人のあふくまうせり

尚序よ

涼くせいのりやと常り
友静

東山双林寺にて寶物集れ

しんぼり

涼月やこれより川の寶物
貞室

は殿ら

涼くその海流やこれより
月

後

蚤蚊蠅々つと三種は太後
流忘

急の敷白く人々

急もやをみきり
河内卷田
一十

瀉もくやらの橋は形
貞室

雜夏

咲けりの花の如く月よさらば 兵庫 金場 可頼

ぬきけりおむのきい車月 兵庫 金場 貞春

ぬきけりおむのきい車月 江州 住持水子 淳道

車いりく汗のあつその形 播州 河合氏 長之

蒸もろくろく六月の暑 播州 河合氏 定次

くわがふあまの目殺 大井氏 重次

あく鼻よ 和列 沙田牧 志貞

ひららの瓶や薄紙一巻 和列 沙田牧 重次

守山 教安 聖歌 定利

奥列 奥列 金津谷 野氏 定次

有馬 鼓 勢 浩 水

芳い 勢列 畠田 南 部 氏 鼓の 勢 や 有 少 ね 草 益 次

夏 兵庫 小 沢 氏 され 言 吉

夏とじわつくつらぬ物の家名

尾州三浦氏

田舎おつりつり葉ありり夏れぬ

越前福井住居氏

吉美

夏切の茶いま枯れまき臺なる

紀州和歌山住居氏

達昌

葉茶つりくつらぬ里(新)を侍て

曾山

家はいつく茶臺や一夏山登

勢州葉名大橋氏

曾立

花の耐よわけくも夏れぬと家

棋州西宮

林義

まんあまやうりもあましく葛だん

正則

らけりゆきとたけりゆき麻木

茂州加治野村服了氏

貞吉

親い農子の麦苗れあしり

白湖

夏無風くもく人なまて

みくくくくくくくくくくくく

江戸佐野氏

一入

みくくくくくくくくくくくく

江州曾根大聖氏

由定

夏は巨景一りくく合親

本れ花くくく

坐禪一石よくくくくくく

貞室

海棠とくくく合親の花くく

月



